施策評価シート

施策等名称	特定事業	体系番号	0501010401
		主管課	建設関連課

1 施策基本情報

現状と課題	高齢者や障害者、子ども等をはじめ、誰もが安全・安心で快適な日常生活を営むことができるよう、公共交通機関や歩行空間の移動の円滑化、公共施設をはじめとする施設のバリアフリー化が求められている。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	市民、事業者、行政など、すべての人がバリアフリーの必要性を理解し、まちにある様々な障壁(バリア)に気づき、一人ひとりがバリアフリー化に持続的に取り組むことで、高齢者、障害者等をはじめとするあらゆる人々が、くらしやすいまちづくりを目指します。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	
				2027年度目標値	
①	特定事業に指定された道路のバリアフリー化の基準適合率	基準適合率(%)	0.00	50.00	100.00
②	特定事業に指定された道路の無電柱化率	無電柱化率(%)	0.00	50.00	100.00
③					

施策の体系	名称	特定事業		主管課	建設関連事業推進課				
		詳細	重点整備地区内において基準に適合した道路の拡幅整備など、バリアフリー化された道路のネットワーク形成を進める。						
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1	特定事業に指定された道路のバリアフリー化の基準適合率	基準適合率(%)	0.00	50.00	1	国道20号(坂室バイパス現道拡幅区間)バリアフリー化事業	実施中	
					100.00	2	県道弘沢茅野線(宮川茅野)バリアフリー化事業	実施中	
		2	特定事業に指定された道路の無電柱化率	無電柱化率(%)	0.00	50.00	3	県道岡谷茅野線(坂室バイパス現道拡幅影響区間)バリアフリー化事業	実施中
	100.00					4	県道茅野停車場八子ヶ峰公園線(仲町~本町)バリアフリー化事業	実施中	
	3					5	市道2級1号(坂室バイパス現道拡幅影響区間)バリアフリー化事業	実施中	
						6			
	基本政策間連携								
	施策の体系	名称			主管課				
			詳細						
		まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
		1					1		
							2		
						3			
2						4			
						5			
						6			
3									
基本政策間連携									
施策の体系		名称			主管課				
			詳細						
	まちづくりの目標指標			指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1					1			
						2			
						3			
	2					4			
						5			
						6			
	3								
	基本政策間連携								

施策等名称	特定事業	体系番号	0501010401
		主管課	建設関連課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)					
施策	特定事業に指定された道路のバリアフリー化の基準適合率	0	0	0	0	0	0	0
		50.00	0	0	0	0	0	0
変動要因等	2018年度	国、県等の各事業の主体が、事業実施にあたり、設計、用地取得等を現在行っている。						
	2019年度	国、県等の各事業の主体が、事業実施にあたり、設計、用地取得等を現在行っている。						
	2020年度	国、県等の各事業の主体が、事業実施にあたり、設計、用地取得等を現在行っている。						
	2021年度	国、県等の各事業の主体が、事業実施にあたり、設計、用地取得等を現在行っている。						
	2022年度	国、県等の各事業の主体が、事業実施にあたり、設計、用地取得等を現在行っている。						
	2023年度	国、県等の各事業の主体が、事業実施にあたり、設計、用地取得等を現在行っている。						
施策	特定事業に指定された道路の無電柱化率	0	0	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		50.00	0	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
変動要因等	2018年度	茅野停車場八子ヶ峰公園線においては、無電柱化事業に先立ち、下水道の移設を2019年度完了予定で実施している。弘沢茅野線においては、県が橋の架け替え工事と併せて無電柱化工事を実施している。						
	2019年度	茅野停車場八子ヶ峰公園線においては、無電柱化事業を進めている。弘沢茅野線においては、県が橋の架け替え工事が完了後に無電柱化工事を実施している。						
	2020年度	茅野停車場八子ヶ峰公園線においては、無電柱化事業を進めている。弘沢茅野線は、無電柱化工事が完了した。						
	2021年度	無電柱化事業は茅野停車場八子ヶ峰公園線を実施している。						
	2022年度	無電柱化事業は茅野停車場八子ヶ峰公園線を実施している。						
	2023年度	無電柱化事業は茅野停車場八子ヶ峰公園線を実施している。						
柱1	特定事業に指定された道路のバリアフリー化の基準適合率	0	0	0	0	0	0	0
		50.00	0	0	0	0	0	0
変動要因等	2018年度	国、県等の各事業の主体が、事業実施にあたり、設計、用地取得等を現在行っている。						
	2019年度	国、県等の各事業の主体が、事業実施にあたり、設計、用地取得等を現在行っている。						
	2020年度	国、県等の各事業の主体が、事業実施にあたり、設計、用地取得等を現在行っている。						
	2021年度	国、県等の各事業の主体が、事業実施にあたり、設計、用地取得等を現在行っている。						
	2022年度	国、県等の各事業の主体が、事業実施にあたり、設計、用地取得等を現在行っている。						
	2023年度	国、県等の各事業の主体が、事業実施にあたり、設計、用地取得等を現在行っている。						
柱1	特定事業に指定された道路の無電柱化率	0	0	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		50.00	0	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
変動要因等	2018年度	茅野停車場八子ヶ峰公園線においては、無電柱化事業に先立ち、下水道の移設を2019年度完了予定で実施している。弘沢茅野線においては、県が橋の架け替え工事と併せて無電柱化工事を実施している。						
	2019年度	茅野停車場八子ヶ峰公園線においては、無電柱化事業を進めている。弘沢茅野線においては、県が橋の架け替え工事が完了後に無電柱化工事を実施している。						
	2020年度	茅野停車場八子ヶ峰公園線においては、無電柱化事業を進めている。弘沢茅野線は、無電柱化工事が完了した。						
	2021年度	無電柱化事業は茅野停車場八子ヶ峰公園線を実施している。						
	2022年度	無電柱化事業は茅野停車場八子ヶ峰公園線を実施している。						
	2023年度	無電柱化事業は茅野停車場八子ヶ峰公園線を実施している。						

施策等名称	特定事業	体系番号	0501010401
		主管課	建設関連課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目	2018年(前年度比)		2019年(前年度比)		2020年(前年度比)		2021年(前年度比)		2022年(前年度比)		2018年~2023年(総括)			
	投資額 (2018年~2023年(総括)については2023年の実績を記載)	事業費(円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
うち一財(円)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
増減理由 (一般財源前年度比±10%以上の場合に記載)														
進捗評価	おおむね順調		おおむね順調		やや遅れている		遅れている		やや遅れている		やや遅れている			
総合評価	主な取組内容や成果	各事業実施に当たり、地元等との課題調整を行った。		国、県と工事内容等の調整を行なった。		国と用地交渉を行ったが、難航している。		国と用地交渉を行ったが、難航している。		(R4評価) 国と用地交渉を行ったが、難航している。 (総括評価) 特定事業については道路改良事業を中心に遅れているが関連事業については進捗が図れていることから「やや遅れている」と評価する。		特定事業については道路改良事業を中心に遅れているが関連事業については進捗が図れていることから「やや遅れている」と評価する。		
	課題	特になし。		用地取得まで交渉等の課題はある。		用地取得までが課題である。		用地取得までが課題である。		(R4評価) 用地取得までが課題である。 (総括評価) 特定事業に位置付けられた国道20号を中心とした道路整備の進捗を図ることが必要である。		特定事業に位置付けられた国道20号を中心とした道路整備の進捗を図ることが必要である。		
改革・改善	改革・改善内容	工事着手までは、成果や影響が形となって見えにくい。引き続き国・県への協力、調整を図る。		工事着手まで、国や県への協力や調整を図る。		用地取得まで、国と調整を図る。		用地取得まで、国と調整を図る。		特定事業に位置付けられた道路事業の促進を図る。 国と連携して、国道20号の用地取得までの交渉を行う。 県と連携して、県事業の進捗を図る。		特定事業に位置付けられた道路事業の促進を図る。 国と連携して、国道20号の用地取得までの交渉を行う。 県と連携して、県事業の進捗を図る。		
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1		1		1		1		1		1	
		重点事務事業	1		1		1		1		1		1	
理由	国・県の事業の進捗状況によって、大きく左右される。		国・県の事業の進捗状況によって、大きく左右される。		国・県の事業進捗状況によって、大きく左右される。		国・県の事業進捗状況によって、大きく左右される。		国・県の事業進捗状況によって、大きく左右される。		国・県の事業進捗状況によって、大きく左右される。			
作成担当者	宮下 淳一		宮下 淳一		宮下 淳一		柳平 智秀		柳平 智秀		伊藤 研一			
最終評価責任者	篠原 尚一		篠原 尚一		篠原 尚一		岩崎 研二		岩崎 研二		黒澤 俊彦			
最終評価年月日	2019年5月31日		2020年7月7日		2021年5月25日		2022年5月27日		2023年10月19日		2024年7月12日			